

2023年10月26日

報道各社 各位

大塚国際美術館

世界的ベストセラー小説
『ダ・ヴィンチ・コード』刊行から20年
翻訳者 越前敏弥氏スペシャルトークショー開催！
2023年11月25日（土）14：00～（開場13：30）

世界を揺るがせた歴史ミステリ『ダ・ヴィンチ・コード』がアメリカで刊行されてから今年でちょうど20年！

大塚国際美術館(徳島県鳴門市)は、『ダ・ヴィンチ・コード』、『天使と悪魔』(原作：ダン・ブラウン)などの翻訳、映画版の字幕翻訳監修を手がけた越前敏弥氏をお迎えし、スペシャルトークショーを開催します。

越前氏が翻訳を手がけたダン・ブラウン氏の“ラングドン・シリーズ”には、「モナ・リザ」、「最後の晚餐」やミケランジェロ作「最後の審判」など数々の名画が登場します。トークショーでは、絵画を交えたエピソードや作者 ダン・ブラウンとの秘話をお話いただきます。

芸術と読書の秋、絵画鑑賞とともに、大人気小説の魅力に触れる貴重な機会をお見逃しなく！

■概要

日時：2023年11月25日（土）14：00～15：00（13：30開場）

題名：越前敏弥氏スペシャルトークショー
「翻訳者 越前敏弥が語るラングドン・シリーズ5作」

会場：大塚国際美術館 別館2階 オープンスペース

定員：40人(事前予約制・自由席)

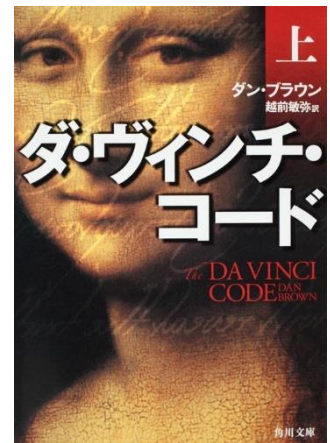
参加費：無料ですが、入館料が必要です

申し込み先：11月24日（金）17：00までに、電話(大塚国際美術館 088-687-3737)または、
当館公式ホームページ特設「越前敏弥氏スペシャルトークショー」内メールフォームで
①代表者氏名 ②人数 ③連絡先 をご連絡ください。

“ラングドン・シリーズ”とは？

宗教象徴学者ロバート・ラングドンを中心に描いた長篇推理小説で、『天使と悪魔』、『ダ・ヴィンチ・コード』、『ロスト・シンボル』、『インフェルノ』、『オリジン』の5作品。(全て越前敏弥訳/KADOKAWA刊)

主人公ロバート・ラングドンがイタリア、ヴァチカン市国、フランスなど世界の名所を舞台に、事件に巻き込まれながら、鍵となる美術や宗教に関する暗号・陰謀説の数々を解き明かしていく物語。



『ダ・ヴィンチ・コード』著：ダン・ブラウン、
訳：越前敏弥 KADOKAWA

越前敏弥氏プロフィール

1961年生まれ。文芸翻訳者。訳書『オリジン』『ダ・ヴィンチ・コード』『Yの悲劇』『クリスマス・キャロル』（以上、KADOKAWA）、『ロンドン・アイの謎』『真っ白な嘘』（以上、東京創元社）、『解錠師』『災厄の町』（早川書房）、『世界文学大図鑑』（三省堂）、『ストーリー』（フィルムアート社）など。著書『文芸翻訳教室』（研究社）、『翻訳百景』（KADOKAWA）、『名作ミステリで学ぶ英文読解』（早川書房）など。学習院大学講師。全国各地の翻訳ミステリー読書会に参加し、ご当地ラーメンを食べ歩くのが趣味。



撮影 大杉隼平

《参考》

大塚国際美術館で鑑賞できる「ラングドン・シリーズ」登場作品

ラングドン・シリーズ	作家名	題名	展示室番号
天使と悪魔	ミケランジェロ	システイーナ礼拝堂天井画および壁画	1
ダ・ヴィンチ・コード	レオナルド・ダ・ヴィンチ	最後の晚餐 岩窟の聖母	41
	ヒエロニムス・ボス	快楽の園	45
	レオナルド・ダ・ヴィンチ	モナ・リザ 東方三博士の礼拝	46
	カラヴァッジョ	聖母の死	47
	ジョルジュ・ド・ラ・トゥール	悔悛するマグダラのマリア	
	オリジン	ポール・ゴーギャン	われわれは何処から来たのか？ われわれは何者であるのか？ われわれは何処へ行かんとしているのか？

おかげさまで開館 25 周年 大塚国際美術館

1998年3月に徳島県鳴門市に設立した陶板名画美術館。世界26カ国の西洋美術を代表する名画1000余点を陶板で原寸大に再現し展示。日本に居ながらにして世界の美術館を体験できます。

【住所】 〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

【TEL】 088-687-3737

【FAX】 088-687-1117

【URL】 <https://www.o-museum.or.jp/>

【開館時間】 9時30分から17時（入館券の販売は16時まで）

【休館日】 月曜日（祝日の場合は翌日）、1月は連続休館あり *8月無休

【入館料】 一般 3,300円 / 大学生 2,200円 / 小中高生 550円 *20人以上の団体は10%割引



《お問い合わせ先》大塚国際美術館 広報担当 吉本
TEL : 088-687-3737 FAX : 088-687-1117 MAIL : info@o-museum.or.jp